

仮名研究文献一覧 (二〇一七年三月)

専修大学 斎藤研究室

2. 「仮名書き法華経」に関するもの

■総記■

- 田島 毓堂 『法華経訓読史の研究』(文部省科学研究費補助金研究成果報告書、名古屋大学、一九九〇～一九九二年)
- 田島 毓堂 『法華経訓読史の研究の諸問題』『名古屋大学文学部研究論集』一二四、名古屋大学文学部、一九九六年
- 野沢 勝夫 「仮名書き法華経」小考―異系統二本の比較の試み『小松英雄博士退官記念 日本語学論集』三省堂、一九九三年七月
- 野沢 勝夫 「絵巻のなかの仮名書き法華経」『昭和学院短期大学紀要』三八、昭和学院短期大学、二〇〇二年三月
- 野沢 勝夫 『仮名書き法華経』研究序説、勉誠出版、二〇〇六年三月
- 内容 「論考篇」『法華訳和尋跡抄』所引の仮名書き法華経について／「瑞光寺本」について／「月ガ瀬本(付)矢代本」について／「法華経切れ」に見る仮名書き法華経／「絵巻」のなかの仮名書き法華経／仮名書き法華経に見る謙讓の「給フ」の消長／「資料篇」瑞光寺本翻字／月ガ瀬本翻字
- 野沢 勝夫 「訓経に非ざる「仮名書き法華経」について―「翻訳仮名書き法華経」と「簡約仮名書き法華経」の存在」『弘前学院大学文学部研究紀要』四六、弘前学院大学文学部、二〇一〇年三月

■影印・翻字・書誌■

(瑞光寺本)

野沢 勝夫 「新資料「瑞光寺本仮名書き法華経」の系統―妙一本・足利本と比較して」『昭和学院短期大学紀要』二五、昭和学院短期大学、一九八九年三月

野沢 勝夫 「新資料「瑞光寺本仮名書き法華経」の系統(二)」『昭和学院短期大学紀要』二六、昭和学院短期大学、一九九〇年三月

野沢 勝夫 「新資料「瑞光寺本仮名書き法華経」の系統(三)」『昭和学院短期大学紀要』二七、昭和学院短期大学、一九九一年三月

野沢 勝夫 「新資料「瑞光寺本仮名書き法華経」の系統(四)」『昭和学院短期大学紀要』二八、昭和学院短期大学、一九九二年三月

野沢 勝夫 「新資料「瑞光寺本仮名書き法華経」の系統(五)」『昭和学院短期大学紀要』二九、昭和学院短期大学、一九九三年三月

野沢 勝夫 「瑞光寺蔵仮名書き法華経 影印・翻字」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

(天理図書館本)

吉見 孝夫 「天理図書館蔵仮名書き法華経と足利本仮名書き法華経」『中田祝夫博士功績記念 国語学論集』、勉誠社、一九七九年二月

廣濱 文雄 「天理図書館蔵「仮名法華経 卷三」『訓点語と訓点資料』六一、天理大学、一九七九年三月

廣濱 文雄 「天理図書館蔵「仮名法華経 卷三」『山辺道』二六、天理大学、一九八二年三月

廣濱 文雄 「天理図書館蔵「仮名法華経 卷三」索引」『訓点語と訓点資料』六八、天理大学、一九八二年五月

廣濱 文雄 「天理図書館蔵「仮名法華経 卷第三 翻字」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

月

(妙一記念館本)

- 中田 祝夫『妙一記念館本仮名書き法華経 影印篇』、仏乃世界社、一九八八年三月
 中田 祝夫『妙一記念館本仮名書き法華経 翻字篇』、仏乃世界社、一九八九年二月
 中田 祝夫『妙一記念館本仮名書き法華経 索引篇』、仏乃世界社、一九九〇年二月
 中田 祝夫「序にかえて―妙一記念館本仮名書き法華経によせる」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

- 野沢 勝夫「妙一本仮名書き法華経」小考―その成立年代を中心として』『昭和学院短期大学紀要』二四、昭和学院短期大学、一九八八年三月

- 野沢 勝夫「妙一記念館本仮名書き法華経小考―その成立時代を中心として」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

(足利本)

- 中田 祝夫『足利本仮名書き法華経 影印篇』、勉誠社、一九七四年六月
 中田 祝夫『足利本仮名書き法華経 翻字篇』、勉誠社、一九七六年九月
 中田 祝夫『足利本仮名書き法華経 索引編』、勉誠社、一九七七年三月
 林 義雄「法華訳和尋跡抄所引法華経古訓と足利本仮名書き法華経について 上」『二松学舎大学東洋学研究所集刊』一〇、二松学舎大学東洋学研究所、一九七九年

- 吉見 孝夫「天理図書館蔵仮名書き法華経と足利本仮名書き法華経」『中田祝夫博士功績記念 国語学論集』、勉誠社、一九七九年二月

石井 文夫 「足利本仮名書き法華経」 漢字字音一覧(一) 『宇都宮大学教育学部紀要 第一部』二九、宇都宮大学教育学部、一九七九年二月

石井 文夫 「足利本仮名書き法華経」 漢字字音一覧(二) 『宇都宮大学教育学部紀要 第一部』三〇、宇都宮大学教育学部、一九八〇年二月

石井 文夫 「足利本仮名書き法華経」 漢字字音一覧(三) 完 『宇都宮大学教育学部紀要 第一部』三二、宇都宮大学教育学部、一九八一年二月

柏谷 嘉弘 「足利本仮名書き法華経の漢語「語彙表」」 『岡山大学教養部紀要』二四、岡山大学教養部、一九八八年二月

柏谷 直樹 「足利本仮名書き法華経」の表記と訓法の「特徴」 『訓点語と訓点資料』八二、訓点語学会、一九八九年一月

(守屋本)

柏谷 直樹 「守屋本仮名書き法華経」について 『訓点語と訓点資料』九二、訓点語学会、一九九三年九月

柏谷 直樹 『守屋本仮名書き法華経』語彙総索引(一) 『学校法人佐藤栄学園埼玉短期大学研究紀要』八、埼玉短期大学、一九九九年三月

柏谷 直樹 『守屋本仮名書き法華経』語彙総索引(二) 『学校法人佐藤栄学園埼玉短期大学研究紀要』九、埼玉短期大学、二〇〇〇年三月

(月ガ瀬本)

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について(一) 『昭和学院短期大学紀要』三三、昭和学院短期大学、一九九七年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について(二) 『昭和学院短期大学紀要』三四、昭和学院短期大学、一九九八年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について(三) 『昭和学院短期大学紀要』三五、昭和学院短期大学、一九九九年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について (四) 『昭和学院短期大学紀要』三六、昭和学院短期大学、二〇〇〇年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について (五) 『昭和学院短期大学紀要』三七、昭和学院短期大学、二〇〇一年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」について (六) 『昭和学院短期大学紀要』三九、昭和学院短期大学、二〇〇三年三月

野沢 勝夫 「月ガ瀬本仮名書き法華経」信解品 第四―翻字 『昭和学院国語国文』三三、昭和学院短期大学国語国文学会、二〇〇〇年三月

野沢 勝夫 「月ケ瀬本仮名書き法華経」解説並びに翻字 (二) 『弘前学院大学文学部研究紀要』四七、弘前学院大学文学部、二〇一一年三月

野沢 勝夫 「月ケ瀬本仮名書き法華経」解説並びに翻字 (二) 『弘前学院大学文学部研究紀要』四八、弘前学院大学文学部、二〇一二年三月

野沢 勝夫 「月ケ瀬本仮名書き法華経」解説並びに翻字 (三) 『弘前学院大学文学部研究紀要』四九、弘前学院大学文学部、二〇一三年三月

(佼成図書館本)

田島 毓堂 『佼成図書館蔵 法華経和歌付き仮名書き法華経の研究 影印篇』、名古屋大学文学部日本文学日本語学研究室、一九九八年六月

(西来寺本)

木村 晟・近藤 良一・萩原 義雄 『西来寺蔵仮名書き法華経 影印編』、陵伽林、一九九三年四月

- 萩原 義雄 『西来寺蔵仮名書き法華経 翻字篇』 勉誠社、一九九四年三月
 萩原 義雄 『西来寺蔵仮名書き法華経 卷第一第二翻刻』 勉誠社、一九九四年四月
 萩原 義雄 『西来寺蔵「仮名書き法華経」語訓攷』 『印度哲学仏教学』八、北海道印度哲学仏教学会、一九九三年一〇月

(その他の本)

- 柏谷 直樹 「摩尼園蔵板本「仮名書き法華経」について」 『築島裕博士傘寿記念 国語学論集』 汲古書院、二〇〇五年一〇月
 恋田 知子 「陽明文庫蔵「道書類」の紹介(二三)」 『仮名書き法華経』 卷第七』 翻刻・略解題』 『三田国文』五七、三田國文の会、二〇一三年六月
 日遠 『法華訳和尋跡抄』 板屋宗胡、寛永一九年刊、三冊
 林 義雄 「法華訳和尋跡抄所引法華経古訓と足利本仮名書き法華経について 上」 『二松学舎大学東洋学研究所集刊』一〇、二松学舎大学東洋学研究所、一九七九年

■文字・表記■

- 林 義雄 「足利本仮名書き法華経の用字法について—『は』の仮名字母の検討」 『二松学舎大学論集百周年記念 国文学』、二松学舎大学、一九七七年一〇月
 峰岸 明 「足利本仮名書き法華経の漢字表記について—表記より文体に及ぶ」 『中田祝夫博士功績記念 国語学論集』 勉誠社、一九七九年二月
 深野 浩史 「妙一記念館本仮名書き法華経本文漢字傍記仮名二三の字体分布について」 『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月
 根上 剛士 「妙一記念館本仮名書き法華経の「お」「を」の表記」 『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

今井 亨「妙一記念館本仮名書き法華経本文における同仮名連続の表記法」『国文学論考』三三三、都留文科大学国語国文学会、一九九七年三月

齋藤 達哉「『研究ノート』足利本仮名書き法華経の異体仮名―ハの異体仮名の書記傾向―」『専修人文論集』九八、専修大学学会、二〇一六年三月

■アクセント・音韻■

沼本 克明「鎌倉時代の二字漢語アクセントの構造―妙一記念館本仮名書き法華経による」『訓点語と訓点資料』九〇、訓点語学会、一九九三年一月

柴田 昭二「字音資料としての妙一記念館本仮名書き法華経」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

沼本 克明「妙一記念館本仮名書き法華経の漢語声調」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

■語法■

石井 文夫「四段活用をする謙譲の助動詞「たまふ」をめぐって―」『足利本仮名書き法華経』にみられる一つの語法』『中田祝夫博士功績記念 国語学論集』、勉誠社、一九七九年二月

小川 栄一「妙一記念館本仮名書き法華経における打消助動詞の連体形「ぬ」と「ぞる」」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

■語彙■

小林祥次郎「妙一記念館本仮名書き法華経における若干の用語について」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

峰岸 明「妙一記念館本仮名書き法華経における漢語訓読の態度について」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

■訓読■

小林 芳規「妙法蓮華経の訓読史から観た妙一記念館本仮名書き法華経」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

田島 毓堂「妙一記念館本仮名書き法華経における為字訓―為字和訓考の一環として」『妙一記念館本仮名書き法華経 研究篇』、仏乃世界社、一九九三年四月

以上